

人体科学会年次大会の開催記録

	開催年月日	大会テーマ	大会会長(所属)
第1回	1991年11月1日-2日	「人体科学の形成をめざして」	門脇佳吉(昭和女子大学)
第2回	1992年12月4日-5日	「息と心」	春木 豊(早稲田大学)
第3回	1993年11月27日-28日	「気の思想」	藤波襄二(東京医科大学)
第4回	1994年11月26日-27日	「臨死体験」「武術と気」	浅見高明(筑波大学)
第5回	1995年11月18日-19日	「心の時代」「気の日中文化史」	湯浅泰雄・久保田圭吾(桜美林大学)
第6回	1996年11月16日-17日	「術と気」	町好雄(東京電機大学)
第7回	1997年11月1日-2日	「気とは何か？」	定方昭夫(長岡短期大学)
第8回	1998年11月14日-15日	「病は語る」	池田士郎(天理大学)
第9回	1999年11月6日-7日	「気・ころ・からだ・いのち」「生きる」	湯浅泰雄(桜美林大学) 宮本知次(中央大学)
第10回	2000年11月18日-19日	「現代医療の光と影」	阿内正宏(淑徳大学)
第11回	2001年11月23日-24日	「今、気の世紀が始まる:ころ・からだ・いのちの危機と触覚の復権」	坂出祥伸(関西大学)
第12回	2002年12月13日-14日	「人間性に迫る」	春木 豊(早稲田大学)
第13回	2003年12月13日-14日	「気を認知する！」	北出利勝(明治鍼灸大学)
第14回	2004年12月4日-5日	「身体の知」	倉澤幸久(桜美林大学)
第15回	2005年12月3日-4日	「スピリチュアリティと倫理」	黒木幹夫(愛媛大学)
第16回	2006年11月25日-26日	「代替医療の今」	定方昭夫(長岡大学)
第17回	2007年12月15日-16日	「動きから身体・人間の可能性を探る—動きの身体論・人間論・文化論」	石塚正一(国際武道大学)
第18回	2008年11月22日-23日	「生き方の問題を問う」	伴 義孝(関西大学)
第19回	2009年12月12日・13日	「魂のありか」	鮎澤 聡(筑波大学)
第20回	2010年12月11日・12日	「いのちとかたち」	丸山敏秋(倫理研究所)
第21回	2011年12月3日・4日	「ころ、からだ、いのち—人体科学の回顧と展望—」	渡邊学(南山大学)
第22回	2012年11月24日・25日	「心身のカーその秘めたる可能性」	石井康智(早稲田大学)
第23回	2013年11月30・12月1日	「旅とスピリチュアリティ」	大賀睦夫(香川大学)
第24回	2014年11月29日・30日	「身心変容と人体科学」	鎌田東二(京都大学)
第25回	2015年11月28日・29日	「死と生と」「いま、湯浅泰雄を語る」	宮本知次(中央大学)
第26回	2016年12月3日・4日	「医学・医療を哲学する—いのちの根源を見据えて」	棚次正和(京都府立医科大学)
第27回	2017年10月21日・22日	「身体と教育」	鈴木守(上智大学)
第28回	2018年12月1日・2日	「我々は:どこから来たのか・何者なのか・どこへ行くのか」	大門正幸(中部大学)
第29回	2019年11月30日・12月1日	「生命(いのち)をカガクで物語る」	須田 斎(東海大学)
第30回	2020年12月5日・6日	「身体というエビデンス、心という物語、いのちというワンネス」	内田匠治(九州看護福祉大学)